

2027.07.18. 木曜礼拝  
「神が私を力付けて下さるタイミングとそのご方法」

ダニエル 10 章

JD ファラグ牧師

天のお父様、主よ、私たちはあなたの御前に来ました。日々、あなたに引き寄せて下さい。主よ、毎日あなたを仰ぎ見、私たちの心と思いをいつもあなたに向けます。主よ、私たちと共に歩んでくださいますように。私たち全員を守る垣根を保ち続けてくださいますように。あなたを愛し、あなたを褒め称えます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

イエスの御名によって、アーメン、アーメン。こんばんは。ようこそ。今夜はいかがですか？ 会衆：いいです！！ わかったよ。なかなか良かったよ。それいただきます。どうぞご着席ください。今夜、来てくださり嬉しいです。オンラインでご覧の方も歓迎します。今夜は、「ダニエル書 10 章」です。え〜っと。OK。言いましょう。素晴らしい章です。衝撃でしょ？ そう述べたことはないからね😅 実際、今夜は 10 章からですけど、あと残すところ 3 章だけです。この書は、そう、良いものだったら、終わってほしくないと思うでしょ。私は終わりにたくないので、実際、残りを半年に分けて学ぼうと思います。できるけれど、しません。でも実は、今夜の 10 章から本質的に、この書の終わりまで続く、一つの預言全集を始めるのです。ですから、こう言わせて下さい。今夜学ぶ 10 章は、非常に興味深いことを目にしますが、しかし、これは 11 章の舞台を整える感じです。ネタバレ注意！ 先を行くため来週のを先に読む人たち、11 章は、数ある最も具体的な預言書の一つではなく、聖書の中で最も具体的な預言書です。事実、、、私は先走りたくありませんけど、それって構わないんです。10 章は 11 章へのイントロみたいだから。11 章の預言はあまりにも具体的なので、批評家たちが、主張してきたのは、その高い的中率、ピンポイントでの高い精度と正確さによりこれらの預言はありえない、預言された通りのことが正確に起こるはずがない。批評家たちは、この書は、事実の後に書かれたものだと主張しています。それほど正確なのです。で、ダニエルは 11 章でその幻を受け、それが、12 章まで続きます。でも今夜、この章の終わりで見るのは、本当はまだこの章は終わらないこと。それどうです？ 章の終わりが、その章の終わり方ではない。実際、奇妙なのは、最後の 21 節まで来ると、まるで、ご存知、原文には章立てはありませんでした。それで、実際、日曜日に「黙示録」で話す予定なのが、鍵となる句読点で、ピリオドがあるべきでないところにあり、コンマがあるべき、またその逆も然り。ですから、章立てや章の区切りがなかったことを理解してください。これは巻物で、連続的に書かれていました。なので、私たちは、これで終わらないような感じで、この章を終えます。この章は、11 章で私たちがこれから見ることの舞台を整えてくれるからです。

では、しかし、今夜私たちが見ることになるのは、弱さの中で孤独に生きるダニエルの姿。そして、彼に力が残っていないことを何度も目の当たりにします。彼は、力が抜けてしまった。しかし、神は。今から分かるように、神だけがお出来になるご方法で、ダニエルを力付けられます。これはタイトルの同義語で、

『神が私を力付けて下さるタイミングとそのご方法』

それが主要な教訓です。たくさんあり、私たちは今夜分かります。実際、皆さんにお伝えすべきは、この章では、神が力付けられる力が抜けた預言者が登場するだけでなく、深遠な預言も登場します。しかし、ある意味ではもっと興味深い、サタンの領域での悪霊的、霊的な戦いがあります。これから、悪霊の領域に関して、聖書を通してあまり目にする事のない興味深い詳細を見ていくこととなります。それで十分ですかね？ まだまだありますけど、まずはこれでどう？ いくつか挙げるとすれば。ですから、興味深い章で、ダニエルの一面を見ることとなります。皆さんが私同様なら、そうだと思いますが、ダニエルに恋をしてしまったでしょ。この神の人、この忠実な神の人に。彼は 80 歳代です。この時点で、80 年代半ばから後半という説もあります。それでは 1 節から取り組みますが、その前に祈りましょう。この学びは、本当に傷ついている多くの人に語りかけ、ダニエルが今置かれている状況に共感するでしょうから。では、祈りましょう。神が沈んでいる人々を力付け、励ましてくださるように。

お父様、この章をありがとうございます。詳細を、この章に含める必要がなかったと思われる詳細に感謝し

ます。しかし、あなたはそれを含めることにされました。あなたはご存知だからです。あなたはご存知です。あなたは私たちのあらゆる葛藤をご存知です。あなたは私たちの心をご覧になり、私たちの弱さを見ておられます。

**人とは何ものなのでしょう。あなたが心に留められるとは。(詩篇 8 : 4)**

主よ、私たちはダニエルに共感できます。この疲れた預言者に共感します。主よ、この章で私たちが共に過ごす時間、この章には、あなたが私たちに見せたいと望んでおられることがたくさんあります。それを見せただけですか？ そうしてくださるとき、あなたが私たちに聞かせたいことを語り、見せたいものを見せてくださるとき、主よ、愚か者でも分かるよう、はっきり語って下さい。この非常に魅力的な章であなたが私たちに見せてくださるものを見逃したくないからです。主よ、ありがとうございます。私たちは期待しています。私たちが祈り、あなたにお願いしたので、あなたはそれに応えてくださることを。ですから主よ、ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

では1節、ここにはタイムスタンプがあります。

**— ダニエル 10 : 1 —**

**ペルシアの王キュロスの第三年に、ベルテシャツアルと名づけられていたダニエルに、あることばが示された。・・・**

それがダニエルのバビロンでの名前でした。

**・・・そのことばは真実で、大きな戦いのことであった。彼はそのことばを理解し、その幻について悟った。**

**— ダニエル 10 : 2 —**

そのころ、私ダニエルは、三週間の喪に服していた。

**— ダニエル 10 : 3 —**

**満三週間、ごちそうも食べず、肉もぶどう酒も口にせず、また身に油も塗らなかつた。**

そう、興味深いのは、際立って欠けているのは、彼がなぜ喪に服していたのかの言及です。そう、それが起こるときはいつも、聖書の中ではよくあることで、憶測が飛び交います。なぜダニエルが嘆き悲しんだのかについては、さまざまな憶測が飛び交っています。いくつかの説では、エルサレムを再建するために、エズラとともに戻ってきたイスラエル人はほんのわずかだったからで、神殿（再建）に、彼らは落ち込んで、ダニエルも同様にそうだった。もしかしたら、ダニエルは二度と見ることのできない愛するエルサレムの状態のせい、瓦礫の山の中にあるから。たぶん、上記のすべてかもしれませんが。私にはひとつだけわかっています。聖霊が理由を明かさず、最後まで置いておかれるのは、私たちが空白を埋めようと焦らないようにするためです。なぜなら、私たちがそれをするなら、時に、自らの危険を顧みずにそうするからです。もしダニエルが、私たちが嘆かないような理由で嘆いているなら、私たちは自分の人生に適応することからこれを退けてしまうからです。

「私はそれでは苦勞してない。私はそれでは嘆かない。私はそれのために祈ったり断食しない。」と。

では、この聖書の学びを進め、今の私に当てはまる部分に入りましょう。それは最後まで分からないです。なぜなら、これは私たちに空白を埋めさせる神のご方法だから。ええ、落胆し、落ち込む時もあるでしょう。そしてあなたは嘆き悲しみ、泣いている。この断食は興味深い断食で、3週間です。それ自体が興味深いです。因みに、この21日間というのがもうすぐ分かります。彼は自分の民について主を探し求めています。

**— ダニエル 10 : 4 —**

**第一の月の二十四日に、私はティグリスという大きな川の岸にいた。**

ー ダニエル 10：5 ー

私は目を上げた。見ると、そこに一人の人がいて、亜麻布の衣をまとい、(↓この記述に注目) 腰にウファズの金の帯を締めていた。

ー ダニエル 10：6 ー

そのからだは緑柱石のようで、顔は稲妻のよう、目は燃えるたいまつのものであった。また、腕と足は磨き上げた青銅のようで、・・・

これ、聞き覚えありませんか？

・・・彼の語る声は群衆の声のようであった。

「黙示録」を見れば、実際、私たちはついこの間その箇所を学んだばかりです。これは、ヨハネが啓示の中でイエスを見た描写をほぼ忠実に再現したものです。(黙示録 1：13～15 参照)

ということは、ダニエルはイエスを見ているのか？ 私はイエスだと信じます。これがイエスであるはずがないと考える人もいます。この後、霊的な領域での戦いの箇所を見ていきますけど、それが、主を求めるダニエルの祈りに応えるため遣わされる御使いが来るのを遅らせたからです。イエスなら、この霊的な戦いで「ペルシアの国の君」のせいで遅れることはありませんから。だから、イエスであるはずがないと。でもこれはあり得ます。では、章の終わりごろはどうなのか。誰か他と話しています。それが御使いで、メッセンジャーです。これはキリストファニー（キリストの顕現）だと思います。キリストファニーとは？ 神格化されたご存在。旧約聖書のイエス・キリストの顕現です。数多くありますよ。旧約聖書の至る所にイエスがおられます。実は今日、ちょうどこのことを考えていました。もう数年前になりますが、私たちは「ヘブル人への手紙」を一節ずつ学びました。「メルキゼデクの例に倣い」を覚えていますか？（ヘブル 5章参照）そう、ある人は信じていて、私もこの解釈に傾き始めているのは、メルキゼデクは、大祭司としてのイエス・キリストのベツレヘム誕生前の御姿。アブラハムがメルキゼデクを崇拜し、彼に什分の一を納めたからです。(創世記 14：20 参照)

律法前の話ですよ。これは什分の一献金についての学びではありません。心配しないで、財布や札入れをしっかり持っていてください。でも、旧約聖書の中で、主かそうでないかは、いつでもわかります。なぜなら、もしそれがただの御使いで、ひれ伏して彼らを拝んだとしたら、御使いは、

「立ちなさい。私を礼拝してはいけません。」(黙示録 19:10 参照)

一方、それが主であれば、ひれ伏して礼拝します。主は、「立ちなさい。私を礼拝してはいけません。」とは仰いません。それは主だからです。主に礼拝しているからです。だから、通常、それでわかります。で、この描写はイエスご自身以外にはありえません。ダニエルにご自分のご存在を知らしめられます。では、

ー ダニエル 10：7 ー

この幻は、私ダニエル一人だけが見て、私と一緒にいた人たちはその幻を見なかった。しかし彼らは大きな恐怖に襲われ、身を隠して逃げ去った。

君たち、どうもありがとう。都合の良い時だけの友人でしょ。彼らはとても怯えていました。これが興味深いのは、彼らは幻を見なかったけれど、彼らは見たものに恐怖を感じた。では、彼らは何に、何を見て、怯えていたのか？ 彼らは、ダニエルの反応を見て、恐怖を感じたのだと思います。その幻を今から見ていきます。

ー ダニエル 10：8 ー

私は一人残ってこの大きな幻を見た。(これを今から最後まで見ていきます。) 内からは力が抜け、・・・

言い換えれば、私は剥き出しになった。

・・・顔の輝きも一変して、力も保てなくなった。

## ー ダニエル 10：9 ー

私は彼の語る声を聞いた。彼の語る声を聞きながら、顔を伏せて地に倒れ、深い眠りに陥った。地面に平伏した。

これを想像してください。ダニエルは、力が抜け、彼は倒れたと思います。彼の中には、立っていられるだけの力すら残っていない。彼はぼったり地面に倒れたのだと思います。顔を伏せて地に倒れ、どうやら深い眠りに陥った。それほど疲れ切った。これは疲れ果てた弱々しい預言者です。力が残っていない。皆さん、そういうところを経験したことがありますか？ つまり、あなたはとても弱くなって、自分には何も残っていない。力が抜けてしまった。ダニエルは、2度語ります。「力が抜け、」「力を保つことができない。」ほとんど重複しています。私は、、、昔のこと、、、妻と話をしていたのが、「もう僕たち、ほとんど言い争うことはないね。」で、霊的に成熟しているしるしだと思いたいです。なぜなら、私たちは恵みの中で成長し、キリストにあって成熟しているから。それに、僕は大変敬虔な夫だし、、、私はそうは言いません。皆さんご存知でしょ。もしそうなら、私はここに立っていないだろうから。でも、妻が思い出させてくれました。妻にしかできない方法で。でも、それが理由ではありません。その理由とは、私たちにはもうその力がないから。私たちはもう、そう、年齢を重ねると、ただ疲れています。もう力が残っていないどころじゃない。若いうちは活力と力があって、「これをやるぞ～～！！」年を取ると、こんな風で、「いやいや・・・ダメ・・・」それは放っておきます。結婚当初は、百万年経っても、それを放っておかない。「そうなのか？俺なのか？お前はどうか！！」今や、それを試してみるなら、たぶん入院することになります。それはあなたの内から多くのものを奪い、もう何も残らない。それはすべてあなたから出てくるものだから。そう、子供を躰けることさえ、ええ、末っ子はいつも躰けとなると、一番いいもの、状態を得られます。理由が分かりますか？ 私たちは、上の子どもたちで本当に疲れているから。長男を覚えていますか？ 長男はこのことを常に思い出させてくれます。実際、多すぎるくらいです。「なあ、僕から学んだら。」長男は、弟や下の妹を見て言います。「パパは、それをした僕を決して見逃してくれなかったよ。」「息子よ、それには理由があるんだ。私たちにはもう力がないんだ。つまり、厳しい躰をする力が残っていないんだ。若かった頃、私たちは立ち上がってお前を叱った。今や、"大事な時に力は取っておかなきゃ"なんというか・・・いや・・・放っておいて。(いびき)」そう、疲れているんです。疲れている。その力がないのです。ええ、それがダニエルです。

## ー ダニエル 10：10 ー

ちょうどそのとき、・・・

ここから良くなります。これ大好きです。

・・・一つの手が私に触れて、膝と手のひらをついていた私を揺さぶった。

これ見て下さい。彼はもう地面に突っ伏しているのではなく、神に触れられたのです。御使いで、もう主ではありません。一年以上あります。すぐに証拠が分かると思います。でも、彼は今、触れられ、顔を地面から離し、四つん這いになって、両手両膝をついている。

## ー ダニエル 10：11 ー

それから彼は私に言った。「特別に愛されている人ダニエルよ、・・・

この言葉を聞くのは2回目です。時に、落ち込んでいるとき、自分が主に愛されていることを思い出す必要があります。主は愛しておられます。このことは先週、お話ししたので、時間はかけませんが、その人はダニエルに、「特別に愛されている人ダニエルよ、」でも、使徒ヨハネもまた、非常に愛されていました。ただし、誰も彼にそうは言いませんでした。ヨハネがそれを私たちに言いました。

「イエスが愛された弟子」(ヨハネ 21:20)

何？イエスは他の弟子たちを愛しておられなかったの？ そうではなく、そう、私たちの子供達への愛し方は、それぞれ違う関係です。私たちはどちらか一方をより愛すると、彼らに聞かれたとしても、、、子供たちにそう聞かれたことありますか？「どっちが好き？僕か弟か？」「そう、場合によるね。」いやいや、もっと

こんな感じです。因みに、ダニエルは旧約聖書で啓示/幻を受けます。実際、「ダニエル書」は、「旧約聖書の黙示録」と愛称されています。そして彼は愛されていた。愛されていた。黙示・啓示を受けたヨハネも同様でした。彼は愛されていました。これで話の向かう先は、神がある者を他の者よりも愛しておられるのではなく、でも、主との距離が近く、親密な人もいます。彼らは主からの偉大な啓示を受けることになります。その事例がダニエルです。しかし、主は、私たちがただ思い出す必要があることも知っておられます。私たちは、主から触れてもらう必要があります。私たちは、主に思い起こさせてもらう必要があります。私たちは主に愛されていることを。さらに踏み込んで、時に、そうであっても、「ええ、神が私を愛しておられることは分かっているけど、時に、気付かされる必要があるんだ。神はまだ私を愛しておられて、怒っておられるのではないと。」それを知る必要があるのは、敵は付き纏って、あなたが弱っているときを待ち構えているからです。いつ一番弱いのか？ 弱っているとき、疲れているとき、疲れ切っているとき、落胆しているとき、嘆いているときです。それが敵が攻める時です。それが敵が攻撃する時です。ですから、主は、、、これが主の、私たちを力付けてくださる方法で、主は私たちを愛していることを思い出させてくださいます。主の御手、主の強大な御手で触れてもらう。そして、この御使いが言います。

・・・「特別に愛されている人ダニエルよ。私が今から語ることばをよく理解せよ。そこに立ち上がれ。私は今、あなたに遣わされたのだ。」彼がこのことばを私に語っている間に、私は震えながら立ち上がった。

あなたが神のご臨在に遭遇したとき、それが主ご自身であろうとなかろうと、ご存じイザヤのように、旧約聖書の中で神に力強く用いられた多くの偉大な、敬虔な男女、新約聖書のペテロさえも（ルカ 5:8）、彼らが聖なる神に面と向かうと、健全な畏れで、震えます。主を畏れ、畏れから震えます。そう、彼は両手両膝をついて震えていた。その時この御使いが言います。

「私は今、あなたに遣わされ、あなたに語る。あなたは悟るのです。」それでダニエルは立ち上がりますが、まだ震えています。

#### ー ダニエル 10:12 ー

彼は私に言った。「恐れるな、ダニエル。・・・

皆さんに、このことを特に注意してほしいのです。

・・・あなたが心を定めて、悟りを得ようとし、自分の神の前で自らを戒めようとしたその最初の日から、あなたのことばは聞かれている。私が来たのは、あなたのことばのためだ。

まだ13節に行きません。まだです。ここにあることを見逃してほしくありません。ダニエルが3週間前に祈り始めてすぐ、その最初の日から、先週の章を覚えていますか？ ダニエルがまだ祈っている間に、彼は中断されました。御使いが中断して、「私はあなたの祈りに応えるために来た。」 「ええでも、私はまだ祈っています。」ダニエルが祈っている最中に。で、ここで語られているのは、ダニエルが祈り始めた最初の日、御使いが遣わされ、彼はその最初の日、派遣された。なぜか？ ダニエルの祈りが聞かれていたから。決して思わないでください。私たちが祈る時に、神が祈りを聞いておられないとは。これからこの遅れを見ます。なぜ遅れたのかを。イエスではなく、この御使いが言います。

#### ー ダニエル 10:13 ー

ペルシアの国の君が二十一日間、私に対峙して立っていたが、そこに最高位（大天使）の君の一人ミカエルが私を助けに来てくれた。私がペルシアの王たちのところに残されていたからだ。

これは悪霊の領域を垣間見るものです。悪霊の領域についていくつかのことを語っています。まず、祈りが決め手である。敵はそれが分かっています。この御使いが、ダニエルの祈りに応えるために遣わされたとき、応えようとする御使いを妨害するために、サタンは悪霊の軍団を送り込んだ。良く考えて下さい。悪魔は、私たちが悪魔を恐れる以上に、私たちを恐れています。あなたや私が祈るとサタンはパニックになる。祈りが自分の終わりを告げると知っているから。それが敗因の決め手だから。チャック牧師の描写が大好きです。殴り合いの喧嘩があって、対戦は2人。ただの殴り合い。一人がナイフを振り回すまでは。で、そのナイフが決め手となる。ナイフを持っていない相手は、その相手の手からナイフを奪うためあらゆる手を尽

くす。なぜか？ ナイフが決め手だと知っているから。それが終わりを告げるから。ナイフが決め手だから、試合終了。そのナイフが、靈的戦いで私たちの祈りです。私たちがそれほどしないのは、何の問題もありませんが、私たちは、「エペソ人への手紙 6 章」の靈的武具の中で、何かを見逃していると思います。私たちは止まってしまうから。救いのかぶと、正義の胸当て、真理の帯、平和の福音の履き物、御霊の剣、信仰の盾。で、その先に行きません。その武具はどうやって着るのか？ 固く立ちなさいと言われてどうするのか？ あなたはこれらの武具を着けて、どうするのか？「祈る」「祈り」です。祈り続ける。絶えず。

### (I テサロニケ 5 : 17)

ここでダニエルは、21日間祈っています。質問、もし彼が20日目でやめていたら、それでもこの御使いは来たでしょうか？ はい！ 別の質問。なぜ神は21日遅れるのを許されたのか？ 神は主権者で、私たちは神の道やご方法を知ることはできないかもしれませんが、私は一つの考えを提案したいと思います。祈り続けることが、私たちのためなのです。彼は祈り、断食し、へりくだり、21日間祈り続けた。そして21日目、ついにミカエルが来たから、自分（この御使い）は、祈りに応えるためダニエルのもとに行くことができた。ネタバレですよ。ちなみに最後まで行くと、彼はダニエルの祈りに応えた後、戻って戦いを終えねばならない。ここでの教訓は？ 物理的領域では見えない悪霊の領域の戦いを過小評価してはなりません。ご存知ですか？ 言い直します。私たちが祈ると、悪魔は震え上がります。私たちが祈るとき、そして祈り続けるとき、このたとえ話をご存知ですか？ 実は私の好きなたとえ話のひとつで、私たちはよくこの話をしてきました。イエスが不当な裁判官と、諦めないしつこいやもめについて教えておられるたとえ（ルカ 18 : 1~7）で、そして最後に言います。

「わかったから、煩わせないでくれ。お前に正義をやろう。」

これは、父なる神が気を揉んで、最終的に私たちの粘り強さに屈して、祈りを聞かれる描写ではありません。「もう離れてくれ！！」なんて。このたとえ話の要点は、祈り続けること。この不当な裁判官が祈りに応え、正義を認めるなら、あなたの天の父はどれほどでしょうか。言い換えれば、もしこれが唯一のたとえ話なら、唯一のたとえ話だと思います。私の思い違いかもしれませんが、イエスが教えられる前に内容を解釈されている唯一の記述です。

いつでも祈り続け、失望してはいけないと仰り、そして、このたとえ話に入られます。（ルカ 18 : 1 参照）

何であっても、その教訓は、絶え間なく祈り続けること、そして決して止めないこと。靈的領域で何が起きているのか分からないのだから。御使い、御使いは応えるために、あなたが祈り始めるとすぐに派遣された。しかし、どうやら遅れが出たようです。敵は、神がそれに応え、なさろうとしていることを、邪魔しようとしているから。祈りは応えられます。神の遅れは、神の否定ではありません。このタイミングになったのは他の理由もあると思いますけど、でも、それは深読みしすぎかもしれませんね。でも、この21日間には何か意味があると思います。祈りと断食を続けたダニエルについて考えてみましょう。これは違う種類の断食です。しかし、彼は3週間自分を拒んだ。自分自身に正直になれば、そう思うのは、3分間祈るための全面的努力。3週間なんかじゃありません。何年も前の統計を聞きました。今はもっと悪いはず。牧師に関係します。私はそれを共有することに抵抗があります。これを話すと、皆さん、斜に構えて私を見るでしょうから。本当の統計です。アメリカ合衆国の平均的な牧師は、これは20年、30年前ですけど、祈る時間は1日平均1分にも満たない。もちろん私ではありません。私は祈りの人です。でも、最初にそれを聞いたとき、「ちょっと待って、これが牧師たち？ 本当にそうなの？」牧師たちの祈りは平均して1分。まず第一に、どうやってそれを認めさせたのか？ 次に、それが牧師なら、どうりで、それですべての説明がつかめます。でも、クリスチャンはどうなのか？ 今のが牧師たちでしょ？ クリスチャンは、どのくらい祈っているの？ 他にもうひとつ、それから先に進めますけど、これは重要です。サタンは、実はあなたの祈りを事前に阻止しようとしています。だから、祈ろうと心を定めると、眠気が襲ってくる。どこからともなく襲いかかってくる。電話が鳴り、子供たちが喧嘩をし出す。地獄のすべての幕開けです。誰がそれをすると思います？ 電話が鳴って、「お、間違い電話。」へへ何が起きているか分かります。サタンは、あなたが祈りのためにひざまずかないようにするためなら、何でも、どんなことでもします。だから祈るのが難しいのです。祈りは大変な仕事です。でも、祈りは心の仕事です。私たちは祈りの中で労苦します。簡単なことな

ら、もっとやっているはずでは？ これを日曜日取り上げましたが、祈り切る、なんてないと思います。そんな表現聞いたことありますか？「私は祈り切ったぞ！」すごい。どうやったの？ 人生の終わりに、主のもとへ帰る前に、こういう話を聞くことがあります。インタビューされて、こんなような質問をされて、

「30年、40年、50年と主に仕えてきたベテランの聖人たち、他に何がしたかったですか？」その質問に対する1番の答えをご存知ですか？「もっと祈ればよかった。」それが私を打ちのめします。もっと祈りたかった？ それを聞いて、私は大きな有罪宣告を受けた気がします。これは罪悪感を煽っているわけではありません。祈りは、義務ではなく、特権です。そう、ダニエルは祈りの人であるだけでなく、祈りの力を示す良い模範です。祈りに応えるため、この御使いをダニエルに近づけないようサタンが、手下を派遣するほどの祈りは、どれほど強力なのか？ そう、地獄は燃えている。とにかく燃えている。でも、私たちが祈る時、それが全てを変えられます。時には即座に。先週のように、ダニエルはまだ祈り終わらないうちに、応答された。事実、「祈りに応えてくださる前に、祈り終えてもいいですか？」「ダメ。今祈りに応えるんだから。」私はこの記述が大好きです。モーセが、こう述べた時「よし、祈るのをやめなさい。」想像してみてください。神に祈るのを止めろと言われてたら？ 実際はもっとこんな感じでした。「祈るのをやめて、行動しなさい。」時に祈りは、、、いや、これは別の機会の別の題材ですね。余計な話は置いておいて、先に進みます。14節、私がそうするとお嫌でしょ？ さて、この御使いは、

#### ー ダニエル 10：14 ー

私は、終わりの日にあなたの民に起こることを分からせるために来た。・・・

おお、もしかすると、それは彼の、、、なぜダニエルはそう落胆したのか？ ダニエルは余命いくばくもありません。彼は老人です。しかし、ダニエルはまだイスラエルの民を愛し、民の将来を案じています。ですから、「私は、後の世にあなたの民に何が起こるかをあなたに理解させます。」彼が終わりの日のことを話しているのはわかりますね。どんな日が終わりの日かわかりますね？ よしてよ。私は必要ないくらいで、皆さんがここに来て、それで聖書の学びを終えることができます。彼は今（こんにち）を話しています。イスラエルという国家において、神の民、あなたの民のための

・・・その幻は来たるべき日を（何年も）待たなくてはならないが。」

これはまだ先の未来です。ダニエルは語ります。15節、

#### ー ダニエル 10：15 ー

彼が私にこのことを語っている間、私はうつむいて黙っていた。

ダニエルよ、マジですか？ 何だって？「何を言っているのかわからなかった。」ダニエルは呆然としていると思います。なぜそんなに呆然とするのか？「神が彼を非常に愛しておられるからです。ダニエルよ、あなたは愛されています。おお、愛されている人よ、愛されている人よ。神はあなたを愛しておられます。」雄々しくあれ、強くあれ。（申命記 31：6参照）

主にあって自分を励ましなさい。

ダビデがツイクラグでしたように。「私は、何と言ったらいいかわかりません。神がこの御使い/メッセンジャーを送るほど私のことを気にかけてくださるとは、言葉ありません。悪霊の領域で、凄まじい対峙に直面して、私のところに来られ、私の祈りに応え、私の叫びの声に耳を傾けてくださる。」ダニエルはうつむいています。それが謙虚さです。ダニエルはまだ立っています。ダニエルはうつむいています。彼には言葉がありません。突然、16節、

#### ー ダニエル 10：16 ー

ちょうどそのとき、人のような姿をした方が私の唇に触れた。・・・

これは別の誰かだと思います。同意しますか？

・・・それで私は口を開いて話し出し、私に向かって立っていた方に言った。・・・

「わが主よ。・・・

それは大文字ではありません。因みに、それが再びイエスなら、ひれ伏すでしょう。

・・・「わが主よ。私はこの幻によって苦痛に襲われ、力を保てなくなりました。

これは、、私たちはこれを聞き続けています。私は力を保てなくなった。私は苦痛に襲われている。非常に打ちのめされ、悲嘆に暮れ、大変落胆している。私にはもう力が残っていない。この啓示/幻に圧倒された。

ー ダニエル 10：17 ー

わが主のしもべが、どうしてわが主と話せるでしょう。・・・

再度ここでダニエルはそう言って、さらにそれを説明します。

・・・私には、もはや力はなく、息も残っていません。」

こんな言い回しをご存知ですね。「息もつけずにハッとさせる。」非常に驚くようなことがあったり、、、

まず第一に、あなたは言葉を失います。妻は私のためにこう祈っています。私が言葉を失うように。ー

(笑)ー でも、私は彼女にこう言います。「それは主の御思いではあられない。」しかし、あなたはできない、あなたは、息を呑むほどです。それは非常に驚くべきこと。主があなたへの愛によって明らかにしてくださったことのゆえに。それはあなたに息をつかさず、言葉を失わせたままにさせます。

ー ダニエル 10：18 ー

すると、人のように見える方が、再び私に触れて、(もう一人の方に戻ってその人が) **力づけてくれた。**

ー ダニエル 10：19 ー

その方は言った。「特別に愛されている人よ、・・・

(これは2度目です。厳密には、この章だけで2度目、合計3回目です。) 彼が言うことを聞いて下さい。

・・・恐れるな。・・・

ボン! 何があなたの力/強さを何よりも奪うかご存知ですか? 恐れです。恐れがあなたから多くを奪います。恐れです。生理的、感情的、心理的、特に靈的に。恐れが。恐れがどれほどエネルギーと力をあなたから奪うかをご存知ですか? その対極が平安です。それが彼が語ることで、

・・・安心せよ。強くあれ。(そうです) **強くあれ。**」

・・・その方が私にそう言ったとき、私は奮い立って言った。「わが主よ、お話しください。あなたは私を力づけてくださいましたから。」

私たちは今、希望を得ました。ダニエルは新たな足取りで、新たな歌を歌い、彼の心に新たな希望を得ました。この御使い/メッセンジャーはダニエルを本当に励ましました。主が私たちを強くしてくださる必要があるとき、私たちは恐れに苛まれているのかもしれませんが。パウロがテモテにこう言うのは興味深くないですか? 聖霊は私たちに臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与えてくださいます。(II テモテ 2：1 参照)

つまり、力がやって来るのは、聖霊が決して与えられない恐れがないところです。聖霊は決して恐れを与えることはありません。あなたが恐れを霊を持つなら、神の御言葉の權威によって確信できます。それは神ではありません。サタンはあなたの心に恐れをおきたいからで、恐れがあなたを弱らせ、あなたと主との親密さを断ち切れるのを知っているからです。それが恐れです。ただ神を信頼してください。恐れと心配は同居人です。心配についてはたくさん話しました。「心配」は、彼らが発見したのは、クリスチャンの研究者ではありませんけど、

「調査によれば」、彼らは報道をこのように始めるのが大好きじゃないですか？「調査によれば」、何て？「心配」は、神経系、消化器系、循環器系、体のあらゆる部分に影響を及ぼします。あなたの髪にも影響します。実話です。あなたの歯に、全身の骨にも。「心配」が。主が私たちにこう諭される時、「心配しないように」「マタイの福音書 6 章」でイエスが仰るように、心配するのはやめなさい。(マタイ 6 : 25 参照)

あなたは自分を殺しています。文字通り、心配はあなたを殺します。以前、説教のタイトルを「心配があなたを殺す前に、殺しなさい。」にしたと思います。理由は、そうだからです。放置したままだと、心配は消化器系を、、、胃が痛みでキリキリする。どうしたらいいんだ？ 心配は、化学物質を全身に駆け巡らせ、あなたを死に至らしめます。ストレスです。その話はしたくありません。医師からストレスを減らすように言われたとき、「おお、なぜ早く教えてくれないんですか？ すぐに取り掛かります。」どうやってするんですか？ それがストレスでしょ。ストレスを減らせて？すべてのストレスホルモンがとてつもなく、恐れ、心配、不安も同じです。物忘れ、、あ、とにかく、、私はこの分野で博士号を持っていますので、私はこのことをよく知っています。知りすぎています。しかしダニエルは、聖別された方法で、イスラエルのことを心配していたと言えるかもしれません。ダニエルが報告を受けていることはわかるはずですが。ある者たちは、多くはそこに留まり、バビロニアで居心地が良すぎるのです。ほんの少ししかエルサレムに戻らず、彼らはどこに戻るのか？ どこにも戻る場所はない。廢墟の山、瓦礫の山。実際、ネヘミヤが城壁の再建に向かったとき、イスラエルの民は非常に落胆しています。ですから、ある意味、心配と懸念の間には、区別、違いがあります。違いがあります。健全な懸念（気を揉む）があるのは当然です。自分の家族、仲間、子供、妻について気を揉む時、あなたの懸念。で、心配の領域に入る時、それとはまったく違います。「ピリピ人への手紙」4 章 6 節から 8 節に、心配の解決方法をパウロが書いています。「マタイの福音書」6 章 19 節から 34 節、イエスも同様に仰います。「ピリピ人への手紙」について話します。パウロはこう書きます。

— ピリピ 4 : 6 —

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

— ピリピ 4 : 7 —

そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、・・・

人間の理屈をすべて覆します。

・・・あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

平安の神からの神の平安です。これは普通の平安ではありません。この平安は、起きていることが前提ではありません。「詩篇」でダビデの詩を読むと、あなたはこう思うでしょう。「おや、これは本当にひどい。」「詩篇」が始まると、あなたはこんなふうに、この気の毒なダビデ、イスラエルの甘美な詩人が、「おお、主よ、私はどれほど長く絶望しているのでしょうか。これが終わりです。ここから抜け出せません。」「詩篇」の終わりになると、「誰が主のようであろうか？」ちょっと待って。何が起きたんだ？ 何をやらかしたんだ？ あなたの事情は変わったの？ あなたは痛みで主に向かって叫び始めてたのに。「詩篇」6 篇主よ あなたはいつまで—。(詩篇 6 : 3 参照) 夜は眠れません。涙で寝床を漂わせふしどを大水で押し流します。(詩篇 6 : 6 参照) 私は死につつあり、骨は枯れつつあります。主よ あなたはいつまで—。(詩篇 6 : 3 参照)

「詩篇」の終わりになってくると、ダビデは主を賛美します。いったい何が？ 神がダビデの状況を変えられたのか？ 違います。神はダビデを変えられたのです。彼はもう恐れません。心配しません。不安で胸がいっぱいになることはありません。ダビデは主に心を強くしていただいています。気をつけて下さい。恐れ、心配、不安が、私たちの力/強さを奪うからです。平安は私たちを強くします。

— ダニエル 10 : 20 —

すると彼は言った。「私がなぜあなたのところに来たか、知っているか。・・・」

はてなマーク？ 彼はダニエルに返事さえさせません。

・・・今、私はペルシアの君と戦うために帰って行く。・・・

OK。バイバ～イ。

・・・私が去ると、見よ、ギリシアの君がやって来る。

待って。待って。待って。待って。待って。待って。この「ペルシアの君」は誰ですか？ ご存知、「エペソ人への手紙」6章で、パウロが区別している私たちが格闘する霊的領域での悪霊の4つの位です。支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊です。(エペソ 6：12 参照)

これは軍隊のように、位が違います。ですから、サタンは空中の権威をもつ支配者ですね？ (エペソ 2：2 参照)

これがペルシアの君だとすれば、これは理に適っています。再度、評論家たちは、これについて多くの議論をします。サタン自身だとは思いません。ペルシアのために派遣されたのは、高位の悪霊たちの1つ、あるいはもしかすると、複数だと思えます。なぜペルシアなのか？ なぜギリシアなのか？ 言い換えると、私がペルシアの君に対処して、それから、次にギリシアの君を地獄に落とす。なぜ？ なぜこの2つなのか？ この2つが征服することになりますから。覚えていますか？ 来週、これを見ます。本当に詳細です。見事です。それは控えめな表現です。驚異的な正確さ/精度。ですから、来週、来なきやいけませんよ。もう1つ話しましょう。その名も、もちろん、アレキサンダー大王については話してきました。クレオパトラの名はご存知ですね？ ダニエルが11章で預言するのは、クレオパトラです。エジプト人です。彼らは実在の人物で、生まれる何百年も前に、彼らがすることをダニエルに幻と預言が与えられました。聞いて下さい。それは起こりました！！！！ ダニエルが数百年後に起こると告げた通りに。ある事例では、その人物が生まれる前です。待ちきれません。来週、11章です。待つしかありません。1週間先です。待てますか？ 断食して祈って下さい。さあ。御使いが今夜派遣されます。では、21節です。これは奇妙です。

## ー ダニエル 10：21 ー

しかし、真理の書に記されていることを、あなたに知らせよう。・・・

カギ括弧もなく、終わります。つづく。

・・・私とともに奮い立って、彼らに立ち向かう者は、あなたがたの君ミカエルのほかにはいない。

OK。おしまい。これでこの章は終わりです。聖書の学びをどのように終わりますか？ 非常にいい質問です。これはどうですか？ ダニエルは、主のおかげで、主にあって、主によって強められました。今、ダニエルはこう告げられようとしています。ダニエルの祈りへ応えるため、主がその叫びの声に耳を傾けられるとき、その叫びとは、「私の民に何が起こるのですか？ 私は民と彼らの将来を大いに心配しています。」「ダニエルよ、それが私がここにいる理由です。ですから、強く、励まされ、平安であれ、恐れるな。これから何が起こるか語ろう。それは終わりの日だが、これから何が起こるかをあなたに語ろう。しかし、私（御使い）はこの対処をしなければならない。ペルシアの君だ。ミカエルが、まだそこにいる。」

ああ、これは強力な悪霊だと思います。彼（ミカエル）はただそこで待っている。おそらくこの御使いを。その箇所に書いてないのが不思議です。もう締めくくります。しかし、、、これは続きがあって、この御使い/メッセンジャーはなぜ語るのか。

「あの、ミカエルがいる。私の光の仕事に対処してくれる。私は降りて来て、ダニエルの対処をする。終わりの日のイスラエルについてのダニエルの質問と懸念に答えなければならない。でも、私は戻る。そう、私は帰る。あなたの祈りに対処したら、私はギリシアの君にも対処する。」

「あなたがたのうちにおられる方は、この世にいる者よりも偉大だからです。」(Iヨハネ 4：4 参照)

言っておきます。私たちは勝利があります。勝利のために戦うのではありません。私たちは勝利から戦うのです。戦いはすでに勝利しています。

最後にもうひとつ、それからディビッドに上がってきてもらいます。たぶん聞いたことがあると思います。台無しにしないようにします。次のように言われています。祈りは勝利する場であり、ミニストリーは戦利品を集めること。同じことを別の言い方で言わせて下さい。祈りは勝利を収めるところです。他のすべては祈りの結果としてもたらされます。ここで自問自答して下さい。主の御前において。聖霊にあなたの心を探ってもらって下さい。祈ることをせず、あなたの人生に何か良いことはありましたか？ 逆にしてみます。あなたの人生でのすべての良いことは、あなたが求めたから来ませんでしたか？ ヤコブはこう言います。

「自分のものにならないのは、あなたが求めないからです。」(ヤコブ 4 : 2 後半参照)

私は震えます。良い言葉が見つかりませんが、求め、祈り続けていたなら、私が手に入れることができ得たすべてを考えます。神が、私たちがあきらめて祈りをやめるまでどれほどの時間がかかるかを見るために私たちを試しておられるのではありません。理由は、ご存知、祈りは物事を変えるとありますが、祈りは祈る人を変えます。今、あなたの人生で、すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、父から下って来るのです。(ヤコブ 1 : 17 参照)

それは祈りよって求めるときに来るのです。10章、11章、12章で、ダニエルは祈りませんでしたか？ もしかすると、章や書、9章でも結構、しかし、私たちは祈りの力を見ることを奪われています。祈りの人がシンプルに祈っただけで、神が駆けつけてくださった。その初日に。ダニエルが祈り始めるや否やです。それについて考えて下さい。次にあなたが祈るとき、あなたが祈るや否や、このように主は、

「OK。行きましょう。そこに降りて行きなさい。ペルシアの君には気をつけなさい。ペルシアの君は最近問題になっている。その後、ギリシアの君だ。その者たちには気をつけなさい。しかし、そこに降りて行きなさい。JD が求めました。」

神は派遣されます。1日目から、ダニエルが祈るや否や、、、OK。おしまいです。それが章の終わりでした。ありがとうございます。ディビッド、上がってきて下さい。ご起立ください。祈りで締めくくります。終わらない章を終わらせる方法は他にわかりません。お気づきですか？ 21節の最後の部分にカギ括弧がありません。

・・・私とともに奮い立って、彼らに立ち向かう者は、あなたがたの君ミカエルのほかにはいない。

(ダニエル 10 : 21 後半)

さいなら。カギ括弧でさえ終わりません。11章に続くからです。OK。続きは、また来週来なければなりません。

お父様、ありがとうございます。わお！ おお、主よ、どれほどあなたは私たちを愛してくださるのでしょうか。子を持つ親が、その泣き声に耳を傾けるように、どれほどあなたは、私たちの叫び声に、耳を傾けてくださるのでしょうか。私たちが祈るとき、あなたは動いてくださいます。私たちが祈るとき、あなたは聞いてくださいます。私たちが祈るとき、あなたは応えてくださいます。祈りがないと、あなたは応えて下さりません。望む時に、望む方法で、望む答えが得られないかもしれませんが、私たちが応えを得ます。時に、私たちがその答えが気に入りません。時に、応えは待つこと。しかし、私たちが応えを得ます。ですから主よ、ありがとうございます。あなたは祈りにいと高きところから応えて下さいます。主よ、霊的領域で起こっているこのスナップショットをありがとうございます。つまり、それほど多くなく、おそらく十分ではありません。私たちがそれを扱えるとは思えないからです。私たちが祈る時の霊的領域の戦いを本当に知っているなら。少なくとも、これを教えてくださり感謝します。それは私たちの目を開かせます。目が開きます。ですから主よ、弱い者に力を与えてくださりありがとうございます。それはあなたからもたらされます。あなたが触れて下さいます。あなたの御言葉。ダニエルは、その言葉を聞いて励まされました。あなたの御言葉に触れるとき、私たちが励まされます。私たちがあなたの御言葉によって励まされます。おお、神よ、おお、それで、私たちは、祈りの人、御言葉の人になれますように。特に落ち込んでいる人が。主よ、あなたゆえに、あなたによって、私たちが強められますように。ありがとうございます。私たちがあなたを

愛しています。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7